

令和 5 年 8 月 25 日
奈良交通株式会社

乗合バス運賃の上限変更認可申請について

奈良交通株式会社（本社：奈良県奈良市、取締役社長：田中耕造）では、本日 8 月 25 日（金）、国土交通省近畿運輸局に、乗合バス運賃の上限変更認可申請を行いました。

申請理由および申請の概要は下記のとおりです。

記

1. 申請理由

弊社乗合バスは、沿線人口の減少と少子高齢化の進展等による利用人員の減少が続いていることに加え、令和 2 年以降の新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大の影響もあり、厳しい事業環境が続いておりますが、このような状況下において、弊社は、地域のバスネットワークを維持するため、バスの利便性向上と事業の効率化に取り組んでまいりました。

具体的には、全国交通系 IC カードへの対応、バスロケーションシステムの導入、バリアフリーの促進、多言語案内の整備などの利便性向上への取組のほか、自動継続型金額式定期券「CI-CA plus」の WEB 販売など、デジタル技術を活用したお客様の利便性向上と地域の活性化にも努めてまいりました。

また一方では、営業所再編や利用実態に合わせた運行計画の見直しを行い、人件費をはじめとしたあらゆる輸送コストの削減と事業の効率化を進めると同時に、沿線自治体からのご支援を頂きながら、地域のバスネットワークの維持に努めてまいりました。

しかしながら、沿線人口の減少と少子高齢化等による利用人員の減少は今後も続く予測されることに加え、コロナ禍以降の新たな生活様式の定着などもあり、運送収入のコロナ禍前の水準までの回復は困難であると想定しております。

こうした中、大型二種免許新規取得者の減少と保有者の高齢化等により運転者の不足が顕在化しており、今後、定年延長や賃金・労働条件の改善等の運転者の採用強化と定着促進に向けた取組が急務となっております。

また、コロナ禍でやむなく車両投資を抑制したため、バリアフリー対応車両への置き換えが遅れており、安全性向上や脱炭素社会実現の観点からも、バリアフリー対応車両や電気バス等の環境対応車両への計画的な代替も促進しなければなりません。

公共交通事業者として、今後も安全かつ安定的に乗合バス事業を継続していくためには、これら喫緊の課題に早急に対処していかなければなりません。諸物価の高騰も続く厳しい事業環境下においては、不断の経営努力をもってしても、それらのコスト増を吸収することは難しく、平成 21 年 12 月 24 日の前回改定（消費税率引上げによるものを除く）以来 14 年ぶりに、やむなく本申請に及んだ次第であります。

事情ご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2. 申請の概要

(1) 申請日

令和5年8月25日(金)

(2) 運賃改定実施予定日

令和6年2月1日(木)(予定)

(3) 申請対象路線

一般路線バス全路線

(高速・空港・定期観光バスおよび市町村のコミュニティバス等一部路線を除く)

(4) 上限運賃の平均改定率

14.26%

(5) 現行・申請運賃比較表

区分	上限運賃 ※1		実施運賃 ※2	
	現行	申請	現行	申請(予定)
均一制	220円	250円	220円	250円
対キロ区間制				
初乗運賃	190円	220円	190円	220円
基準賃率	52円38銭	59円80銭	210円～5,350円	240円～6,150円

※1 上限運賃とは、乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

(6) 主要区間の運賃

区間	普通運賃		通勤定期券 (1か月・区間式)		通学定期券 (1か月・区間式)	
	現行	実施運賃 (予定)	現行	実施運賃 (予定)	現行	実施運賃 (予定)
均一制 (JR・近鉄奈良駅および高の原駅周辺)	220円	250円	9,900円	11,250円	7,370円	8,140円
学園前駅 ～ 西登美ヶ丘二丁目	230円	260円	10,350円	11,700円	8,070円	8,810円
学園前駅 ～ 赤膚山	240円	270円	10,800円	12,150円	8,420円	9,150円
東生駒駅 ～ 小瀬	260円	300円	11,700円	13,500円	9,130円	10,170円
生駒駅 ～ 新生駒台北口	220円	250円	9,900円	11,250円	7,720円	8,480円
学研奈良登美ヶ丘駅 ～ 鹿ノ台北二丁目	190円	220円	8,550円	9,900円	6,670円	7,460円
王寺駅 ～ 片岡台三丁目	220円	250円	9,900円	11,250円	7,720円	8,480円
五位堂駅 ～ 真美ヶ丘センター	210円	240円	9,450円	10,800円	7,370円	8,140円
大和西大寺駅 ～ 平城中山	250円	290円	11,250円	13,050円	8,780円	9,830円
近鉄郡山駅 ～ 泉原町	390円	450円	17,550円	20,250円	13,690円	15,260円
大和八木駅 ～ 橿原総合庁舎	220円	250円	9,900円	11,250円	7,720円	8,480円
近鉄大和高田駅 ～ 東中	230円	260円	10,350円	11,700円	8,070円	8,810円
榛原駅 ～ 天満台東三丁目	280円	320円	12,600円	14,400円	9,830円	10,850円
JR・近鉄奈良駅 ～ 梅美台三丁目	310円	360円	13,950円	16,200円	10,880円	12,200円
高の原駅 ～ 州見台八丁目北	280円	320円	12,600円	14,400円	9,830円	10,850円
学研奈良登美ヶ丘駅 ～ 光台一丁目	250円	290円	11,250円	13,050円	8,780円	9,830円
三山木駅 ～ 同志社山手中央	230円	260円	10,350円	11,700円	8,070円	8,810円
祝園駅 ～ 国立国会図書館	270円	310円	12,150円	13,950円	9,480円	10,510円
加茂駅 ～ 和束河原	490円	560円	22,050円	25,200円	17,200円	18,770円

- ・通学定期券の実施運賃は、子育て世代のご負担増に配慮し、割引率を 41.5%から 43.5%に拡大いたします。
- ・IC カード「CI-CA」のプレミア率は普通 5%、ひまわり 15%で据え置きます。
- ・自動継続型金額式定期券「CI-CA plus」は、設定された区間運賃額の変更または乗車ごとの差額精算が必要になります。(詳細は改めてお知らせいたします。)
- ・その他、詳細につきましては、認可を受け次第、改めてお知らせいたします。

3. これまでの経営改善と今後の取組

弊社では、住宅地・学校・事業所・商業施設など沿線の変化に対応した路線網を構築し、需要に応じた運行ダイヤの編成に努めております。また、ラッピングバスやデジタルサイネージ等の広告収入の拡大や事業用地の有効活用など、運賃収入以外の収益の確保にも努めております。加えて、不採算路線においては、沿線府県や市町村と協議を重ね、効率的な運行体系への見直しのほか、弊社グループのタクシー会社も含めた小規模営業所の再編により、管理体制の適正化も進めてまいりました。

今後は、最大の課題である運転者の採用強化と定着促進に向けた取組を早急 to 実施し、安定的な運転者の確保を図ってまいります。また、地域の皆様と協力して持続可能な交通体系の構築に向けた協議を進めるほか、成長が見込まれる訪日客に対しては、デジタル技術を活用し、積極的な増収策を進めるなど、今後も、地域のバスネットワークを維持するために、バスの利便性向上と事業の効率化に継続して取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

4. 安全性向上への取組

経営トップ以下全社員が「安全はすべてに優先する」を行動基準とし、安全目標を定めて取組を行っております。

具体的には、車両の安全性向上として、老朽車両の代替を促進してまいります。合わせて、令和元年度より導入中の EDSS (ドライバー異常時対応システム) についても、今後、運転者の体調不調時に自動的に停車できる自動検知式 EDSS を導入してまいります。

一方、運転者の健康管理についても、健康診断結果に基づく経過管理、睡眠時無呼吸症候群に対するスクリーニング検査、ストレスチェックの定期実施、インフルエンザ予防接種の全額補助等に加え、令和 4 年度からは健康経営への取組も開始するなど、健康管理面の施策も強化しております。

また、運転者の安全運転の意識と運転技術の向上を図るため、昭和 27 年から「安全運転研修会」を継続して実施しているほか、警察と連携したバスジャックやテロ等の非常時対応訓練なども含めて、運転者の指導・教育にも積極的に取り組んでおります。

5. サービス向上・環境面の取組

これまで、全国交通系 IC カードへの対応、大人通勤定期券の持参人式導入、通学目的以外にも購入できる「学生定期券」の導入、高齢者向け定期券「奈良交通ゴールドバス」の導入と運転免許返納者への無料配布など、ご利用いただきやすい運賃制度の導入に取り組んでおりますが、今後、令和 5 年 3 月の発売開始以降ご好評いただいている自動継続型金額式定期券「CI-CA plus」の機能向上を図り、新しい生活様式下での外出機会拡大に貢献してまいります。

また、独自のラストワンマイル対策として令和 3 年度から開始しているサイクル&バスライドについても、地域のご理解のもと実施箇所の拡大に努めてまいります。

さらに、今後増加が見込まれる訪日客を含め来訪者にご利用いただきやすいバスを目指し、訪日客の多い主要駅窓口には多言語対応スタッフを配置していますが、本年 7 月からは、JR 奈良駅、近鉄奈良駅、東大寺大仏殿・国立博物館バス停に多言語対応案内係「奈良バスコンシェルジュ」を新たに配置し、訪日客を含め来訪者の利便性と満足度の向上に取り組んでおります。また、市内循環線で実証実験中のクレジットカードのタッチ決済やデジタルフリー乗車券の拡大、視認性に優れたラインカラーの導入など、引き続きサービス向上に取り組んでまいります。

一方、車両・設備面では、バリアフリー対応ノンステップバスへの代替、上屋・ベンチの設置、バス総合案内用デジタルサイネージの拡充を進めてまいります。

また、脱炭素社会の実現に向けて、令和 4 年度より導入を開始した電気バスについては、今後も国や関係自治体からのご支援のもと導入台数を拡大し、大阪・関西万博を見据えて奈良が環境対策に優れた観光地として内外から選択いただけるよう、その一助となるべく取り組んでまいります。

以 上

〈参考〉

弊社グループのエヌシーバス株式会社（本社：奈良県奈良市、代表取締役：米田佳弘）においても、同内容の申請を行っております。

（主要区間の運賃）

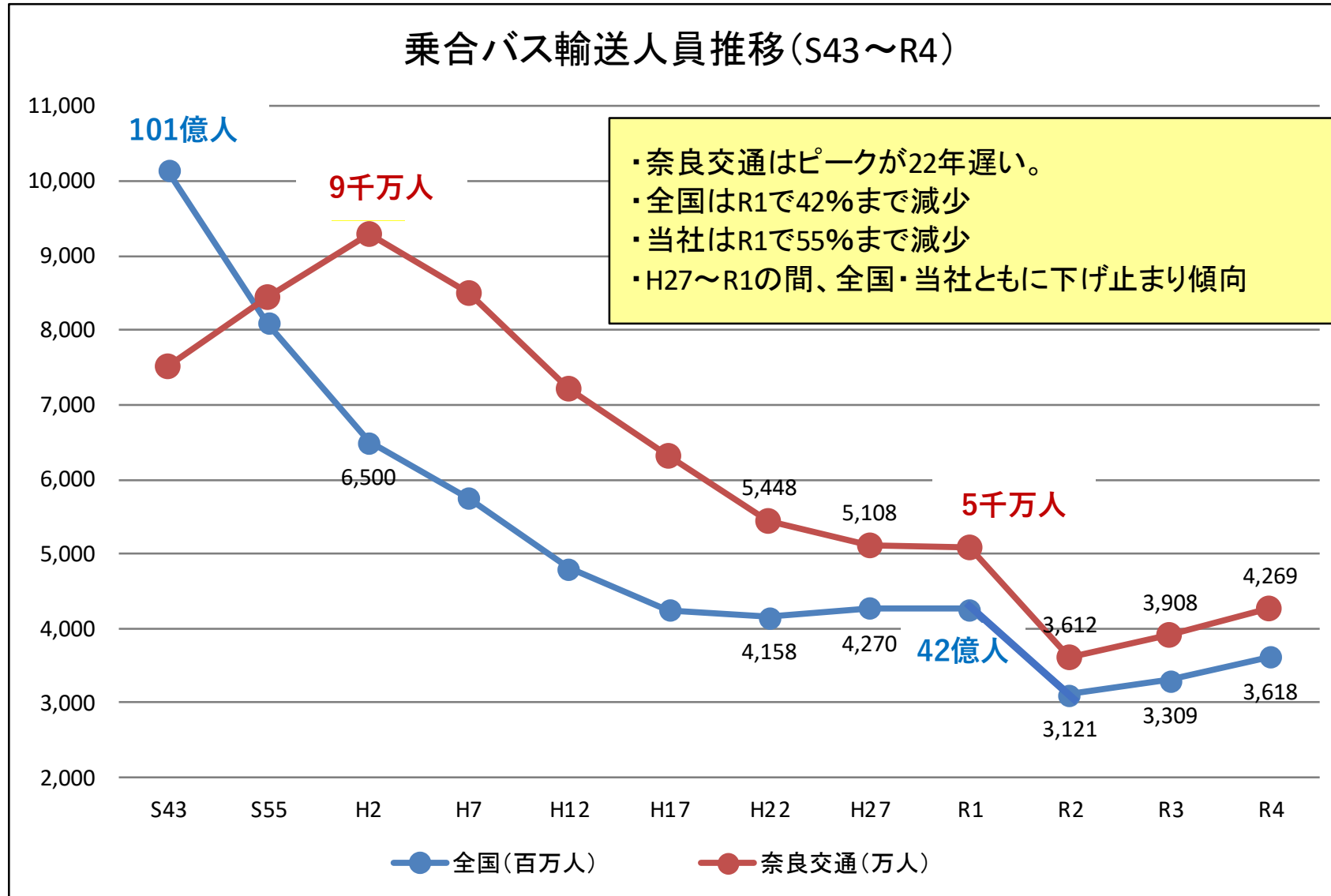
区間	普通運賃		通勤定期券 (1か月・区間式)		通学定期券 (1か月・区間式)	
	現行	実施運賃 (予定)	現行	実施運賃 (予定)	現行	実施運賃 (予定)
平群駅 ～ 椿台中央通	220円	250円	9,900円	11,250円	7,720円	8,480円
東山駅 ～ 北小学校前	190円	220円	8,550円	9,900円	6,670円	7,460円

当社乗合バス事業の現状について

令和5年10月23日

奈良交通株式会社

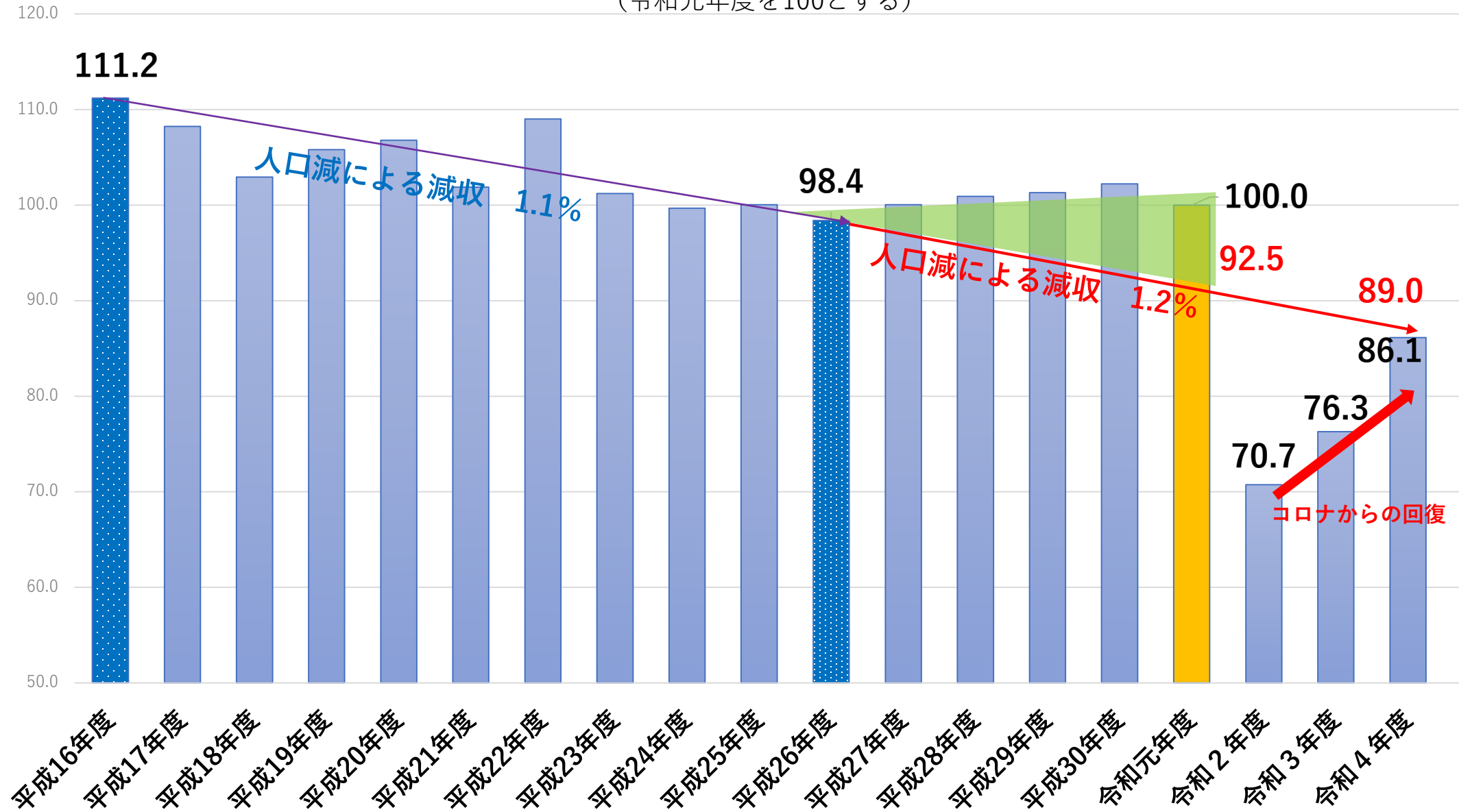
1. 全国および奈良交通の乗合バス輸送人員推移 (S43~R4)



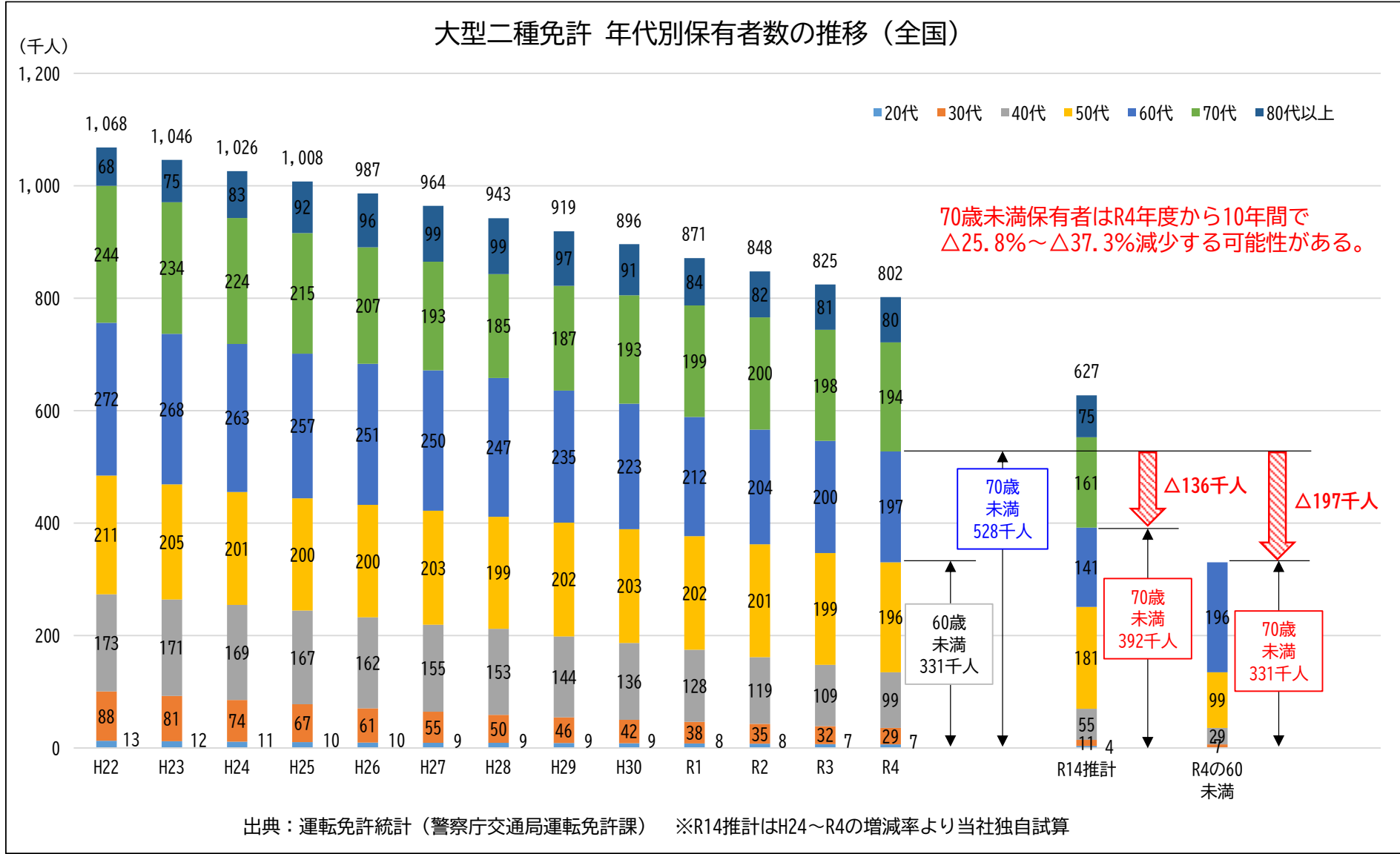
全国は日本バス協会「日本のバス事業」、国土交通省「自動車輸送統計」より

2. 奈良交通路線バス収益の推移（平成16年度～令和4年度）

（令和元年度を100とする）



3. 大型二種免許 年代別保有者数の推移（全国）



- H24～R4の10年間の保有者減少率は全体で平均△2.4%/年
- 年代別では20代△5.1%、30代△8.9%、40代△5.2%、50代△0.3%、60代△2.8%、70代△1.4%となっており、20代～40代の保有者の減少率が大きい。